「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		やまとあけぼの学園運営費 [やまとあけぼの学園運営事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	8	心身障害児通所施設費	事業番号	2
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育 課 やまとあけぼの学園 係					課長名	関田孝志				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書(ページ)	55		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 やまとあけぼの学園に通園している児童					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①延べ通園児数 ②実通園児数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 療育を通して児童の力を引き出し、自立へ近づくことができる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 通園者のうち、入園したことで生活習慣が良くなったと感じた保護者数の割合					
	③ そのために何をしましたか。 発達につまずきのある就学前の児童に対し、自立を助長するために必要な指導及び訓練を実施した。 ①療育・・・通園により、自立した生活習慣の獲得や人との関係性の発展などを旨とする。 ②機能訓練・・・専門の療法士により、理学療法、作業療法、言語療法を実施する。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①療育実施日数 ②機能訓練実施回数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	①延人 ②人	①2108 ②15	①2424 ②19	①2529 ②20					
	成果指標	②の数値	%								
	目標	②の目標値		100%	100%	100%					
目標値設定の考え方 保護者が子どもを入園させて良かったと思える施設											
活動指標	③の数値	①日 ②回	①234日 ②46回	①230日 ②46回	①236日 ②39回						
3 経費	事業費(実績)		円	25,483,416	24,662,506	26,350,453		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	7,586,968	4,424,775	4,671,400					
		特定財源(国・都・他)	円	17,896,448	20,237,731	21,679,053					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	7.0	4.5	5.0					
		所要人数(再任用)	人	1.0	2.8	2.0					
	職員人件費(再任用以外)		円	57,708,000	37,395,000	41,900,000					
職員人件費(再任用)		円	3,019,000	10,342,333	6,995,000						
事業費+人件費		円	86,210,416	72,399,839	75,245,453						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和47年度										
	(2) 環境の変化 発達障害に関する認識が広がるとともに、幼少期からの早期療育に対する関心が高まり、児童発達支援事業所が増えてきている。また、療育についても日常生活に必要な指導、訓練だけでなく、将来の自立を意識して取り組んでいく必要が出てきている。										

事業名称	やまとあけぼの学園運営費 [やまとあけぼの学園運営事業]		
担当部署・課長名	保育	課	やまとあけぼの学園 係 課長名 関田孝志

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により、行事の中止等療育に大きな影響があった。実施した事業所の自己評価ではその点を惜しむ声があったが、総合的な満足度は高かった。</p>				
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)</p> <table border="1"> <tr> <td>☒ 取り組んだ</td> <td>取組手法：⑧(行事(あけぼの祭り)でボランティアだが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため)</td> </tr> <tr> <td>☐ 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()</td> </tr> </table> <p>(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 実施している事業の性格から現状の取り組みが適切である。</p>	☒ 取り組んだ	取組手法：⑧(行事(あけぼの祭り)でボランティアだが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため)	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
☒ 取り組んだ	取組手法：⑧(行事(あけぼの祭り)でボランティアだが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため)				
☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()				
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の移転等今後の運営については、引き続き担当部署により検討していく。 専門職の補充が難しくなっているが、保護者との信頼関係を醸成し、良好な評価結果を維持していきたい。 <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の移転等今後の運営については、担当部署により検討を継続している。 今年度の自己評価結果は新型コロナウイルス感染症の影響があったが、療育については良好な評価を得ることができた。 <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の移転等今後の運営については、引き続き担当部署により検討していく。 施設の老朽化や職員の高齢化などの課題はあるが、保護者との信頼関係の醸成に努め、良好な評価を維持していきたい。 				
8	<p>施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)</p> <p>施策名： 障害者福祉の推進</p> <p>☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()</p>				
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)</p> <p>☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者が子どもを入園させて良かったと思える施設を目指す。 保護者の気持ちに寄り添い、専門的でありながら負担を増やさないアドバイスを行う。 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解を持つ。 <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の作成にあたっては、より適切な計画とするため、保護者の考えと園の考えを摺り合わせる必要がある。 子どもの将来を考える上で役立つ情報を提供する。 				